

2024(令和6)年 10月15日(火) 14464号(通巻)

メタル情報ネット

〒530-0043
 大阪市北区天満 2丁目 12番 3
 電話：06-6353-7831
 FAX：06-6353-7832
 E-mail：info@metalnet.jp
 購読料(税込) 外電配信料(税込)
 79,200円(12か月) 92,400円(12か月)
 39,600円(6か月) 46,200円(6か月)
 19,800円(3か月) 23,100円(3か月)

日刊 **メタルジャーナル** Metal Journal

2028年度中期需要予測

年平均伸び率0.6% 637千トン

電線工業会

一般社団法人日本電線工業会(森平英也会長)はこのほど、調査統計専門委員会がまとめた2028年度中期電線需要見通しを発表した。予測結果は、銅電線が、23年～28年の年平均伸び率を+0.6%とし、23年度実績619.5千トンに対し、28年度は637千トンとしている。電力や電気機械の伸びが大きい。アルミ電線は同様に+2.4%、23年度26.6千トンに対し30千トンとみている。

銅電線の予測のうち、内需は平均伸び率+0.6%、23年度実績607.5千トンに対し626千トン、輸出は-1.7%、12.0千トンに対し11千トンとしている。

予測の前提として、23～28年度の日本経済の見通し(年平均伸び率)を、実質GDP成長率+1.0%、民間最終消費支出+1.0%、民間企業設備投資+2.0%、民間住宅投資-1.1%、鉱工業生産指数+1.2%とした。

28年度の各需要部門別出荷の見通しは次の通り。

単位:千トン

年度	2022		2023		2024		2028		28/23	28/24
	実績	実績	構成比(%)	見通し改訂	構成比(%)	予測	構成比(%)	年平均伸び率(%)	年平均伸び率(%)	
通 信	7.7	7.8	1.3	8	1.3	8	1.3	0.5	0.0	
	(15.4)	(17.1)	(64.3)	(17)	(60.7)	(19)	(63.3)	(2.1)	(2.8)	
電 力	41.9	44.1	7.1	47	7.5	50	7.8	2.5	1.6	
電 気 機 械	131.5	121.3	19.6	121	19.4	130	20.4	1.4	1.8	
重 電	19.4	17.0		17		19		2.2	2.8	
家 電	11.1	10.0		9		10		0.0	2.7	
電子・通信	27.1	22.4		22		25		2.2	3.2	
電 装 品	51.5	52.8		53		56		1.2	1.4	
そ の 他	22.4	19.0		20		20		1.0	0.0	
自 動 車	84.1	92.4	14.9	90	14.4	95	14.9	0.6	1.4	
建 設 ・ 電 販	297.4	302.9	48.9	302	48.3	303	47.6	0.0	0.1	
	(6.3)	(7.6)	(28.6)	(8)	(28.6)	(9)	(30.0)	(3.4)	(3.0)	
そ の 他 内 需	39.7	39.0	6.3	40	6.4	40	6.3	0.5	0.0	
	(21.8)	(24.7)	(92.9)	(26)	(92.9)	(28)	(93.3)	(2.5)	(1.9)	
内 需 計	602.2	607.5	98.1	608	97.3	626	98.3	0.6	0.7	
	(0.6)	(2.0)	(7.5)	(2)	(7.1)	(2)	(6.7)	(0.0)	(0.0)	
輸 出	17.4	12.0	1.9	16	2.6	11	1.7	-1.7	-8.9	
	(22.3)	(26.6)	(100.0)	(28)	(100.0)	(30)	(100.0)	(2.4)	(1.7)	
合 計	619.6	619.5	100.0	625	100.0	637	100.0	0.6	0.5	

(注) 1. ()内はアルミ電線を示し外数。

[KN240911]

部 門	コメント
通 信	データセンター需要はあるものの、通信インフラ環境のメタルから光へのシフトは継続し、銅線需要は期待できないと見て、2023年度～2028年度までの平均伸び率+0.5%と予測。
電 力	経年品の更新や再生可能エネルギー関連、地域間連系線増強、AI普及をにらんだ電力インフラ整備需要が期待され、同+2.5%と予測。
電 気 機 械	電装品、電子・通信部門の需要増が期待でき、同+1.4%と予測。
重 電	設備更新、再生可能エネルギー関連、AI普及による電力需要増に伴い、変圧器等の電力ネットワーク機器関連需要が期待され、同+2.2%と予測。
家 電	人口減により消費の拡大は見込めず、同+0.0%と予測。
電子・通信	電子機器の小型化など銅電線の使用量は減少も予測されるが、AI、ロボット、医療関連向けの需要は増えるとみて、同+2.2%と予測。
電 装 品	CASEの進展による緩やかな需要増は長期的に継続するとみて、同+1.2%と予測。
自 動 車	人口の減少や、日本製BEV車の競争力低下による国内自動車総生産台数伸び悩みの懸念があるが、国内メーカーのBEV車の比率は増加傾向にあることから、電線需要は同+0.6%と予測。
建 設 ・ 電 販	都市再開発、データセンター、物流倉庫、再生可能エネルギー関連など大規模工事による需要は継続するものの、人口減少による住宅着工減や、人手不足により施工能力が追い付かず、同+0.0%と予測。
そ の 他 内 需	民間設備投資需要に期待し、同+0.5%と予測。
輸 出	脱炭素化社会に向け世界的需要は増加傾向と見る一方、為替変動リスク回避、貿易摩擦問題解消等から、現地生産化が一層進展すると想定され同-1.7%と予測。

二次地金合金地金8月

生産・出荷 前年割れ2か月
ダイカストは88.5%

アルミ合金協

一般社団法人日本アルミニウム合金協会（田代裕一会長）はこのほど、2024年8月の二次地金合金地金等生産実績を発表した。生産（自家・受託合計）は49,723トンで前年同月比は93.7%、出荷（販売・その他合計）は50,321トンの同92.0%。生産・出荷の同比マイナスは2

か月ぶりとなった。

前月比でも、生産は75.7%、出荷は76.8%と大幅にダウンした。

産業部門別出荷（二次地金同合金地金同ピレット等）の前年同月比は、全8部門（粉除く）のうちプラスは、板、押出、鉄鋼、「その他」の4部門。マイナスはダイカスト、鋳物、合金地金メーカー向け、輸出の4部門だった。

同比ポイントの幅は、輸出を除くと、「その他」のプラス78.6から、ダイカストのマイナス11.5ポイントまでとなっている。

アルミニウム二次地金同合金地金等生産実績(1)

(一社)日本アルミニウム合金協会

(令和6年8月)											
1. 地区別製品生産 (単位: トン)											
区分 地区別	月初在庫	受 入				消 費	出 荷			過欠補正	月末在庫
		生 産		その他	計		販 売	その他	計		
		自家生産	受託生産								
関東	11,206	15,822	1,204	26	17,052		16,035	1,191	17,226		11,032
中部	5,024	17,024	726	0	17,750	106	17,018	727	17,745		4,923
近畿	4,569	9,274	2,214	58	11,546		9,300	2,219	11,519		4,596
九州四国中国	2,578	3,256	203	0	3,459	2	3,748	83	3,831		2,204
計	23,377	49,723		84	49,807	108	46,101	4,220	50,321	0	22,755
前年同月比%		93.7							92.0		106.3

2. 品種別製品生産 (単位: トン)											
区分 品種別	月初在庫	受 入				消 費	出 荷			過欠補正	月末在庫
		生 産		その他	計		販 売	その他	計		
		自家生産	受託生産								
二次地金	606	3,555	2,124	0	5,679		3,593	2,120	5,713		572
合金地金	20,673	39,289	897	0	40,186	106	39,399	897	40,296		20,457
ピレット	5	73	0	0	73		73	0	73		5
母合金	1,593	610	715	0	1,325	2	872	707	1,579		1,337
ベースメタル	500	1,849	611	84	2,544		2,164	496	2,660		384
その他	0	0	0	0	0		0	0	0		0
計	23,377	45,376	4,347	84	49,807	108	46,101	4,220	50,321	0	22,755

3. 産業部門別出荷 (単位: トン)											
品名	部門別	鋳物	ダイカスト	板	押出	鉄鋼	合金地金メーカー向け	粉	輸出	その他	計

() 内数字は前年同月比 %

アルミニウム二次地金同合金地金等生産実績(2)

(一社)日本アルミニウム合金協会

(令和6年8月)														
4. 原料消費量 (単位: トン)														
区分 原料名	月初在庫	受 入					消 費	出 荷				過欠補正	月末在庫	
		購 入		受 託		その他		計	販 売	委 託	その他			計
		国内	輸入	国内	輸入									
新地金	9,966	0	2,400	0	561	0	2,961	3,144	39	0	0	39	4	9,748
ベースメタル	10,978	7,185	1,191	2	0	28	8,406	8,010	326	0	0	326	56	11,104
アルミくず	7,293	4,376	72	35	0	0	4,483	5,246	18	0	0	18	-19	6,493
合金	板系統	14,951	20,135	234	951	0	21,320	20,973	1,822	55	0	1,877	64	13,485
	鋳物系統	8,393	17,013	374	506	0	17,893	17,582	151	96	0	247	42	8,499
ドロス・灰	860	4,578	0	135	0	89	4,802	4,556	140	130	0	270	0	836
金属珪素	2,936	0	2,584	0	12	81	2,677	2,578	20	0	0	20	-19	2,996
その他	961	1,785	67	71	5	25	1,953	1,807	51	0	0	51	0	1,056
計	56,338	55,072	6,922	1,700	578	223	64,495	63,896	2,567	281	0	2,848	128	54,217

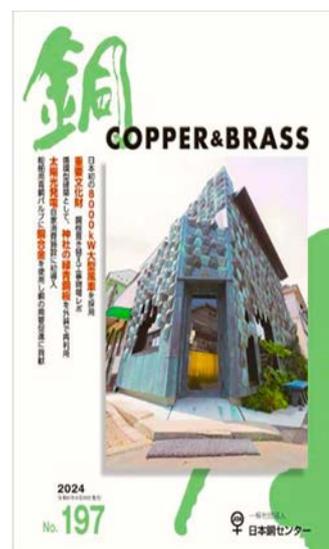
「銅」誌197号を発行

日本銅センター

一般社団法人日本銅センター（小野直樹会長）はこのほど、会誌「銅」の197号を発行した=写真は表紙。

内容は、「より良い地球の未来のために、栄養源として」/科学技術館「銅の日」イベント大盛況！/日本初の8000kW大型風車を採用「石狩湾新港洋上風力発電所」のある石狩市 再エネを活用した持続可能なまちづくりとは/北海道庁旧本庁舎改修事業/愛知県庁本庁舎屋根改修工事/循環型建築として、神社の緑青銅板を外装で再利用 和國商店/人工緑青開発秘話/太陽光発電自家消費施設に初導入/船舶用青銅バルブに銅合金を使用し、銅の需要促進に貢献/銅センターニュース。

「表紙のことば」は「神社の緑青銅板を外装で再利用したカフェ『和國商店』。建築板金職人×世界的建築家×地域工務店のコラボレーションで作られた。日本の“職人の良さ”を身をもって感じられる建築物だ」。



金属資源レポート

サウジアラビア鉱業の発展 ⑤

JOGMEC

〈鉱業関連法〉

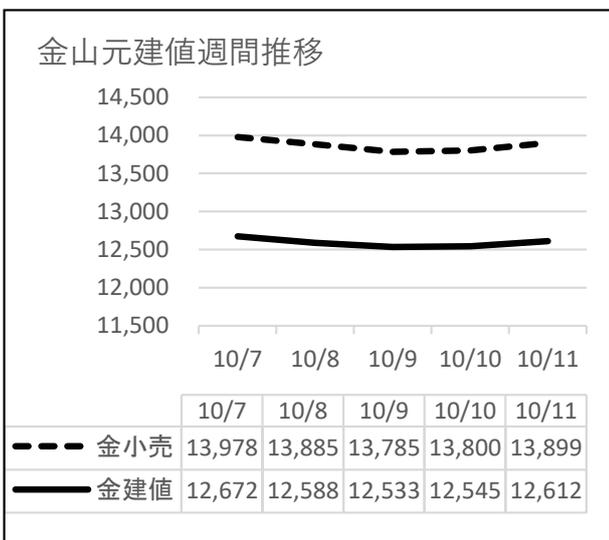
1970年以降、サウジアラビアにおける鉱業関連法の大きな改正は3度あり、ヒジュラ暦1392年5月20日(西暦1972年7月2日公布)の国王勅令第M/21号に基づいて公布された鉱業法(Mining CodeまたはMining Law)(西暦1972年7月2日公布、1973年1月1日発効)、ヒジュラ暦1425年8月20日(西暦2004年10月4日発布)の国王勅令第M/47号に基づいて公布された鉱業投資法(西暦2004年10月4日発布、2005年1月1日発効)、ヒジュラ暦1441年10月19日(西暦2020年6月11日公布)の国王勅令第M/140号に基づいて公布された鉱業投資法(Mining Investment CodeまたはMining Investment Law)(西暦

2020年6月11日公布、2021年1月1日発効)の3つの法律が存在する。2004年公布の鉱業投資法以降は、同名の法令名での改正が行われている。原典はアラビア語。

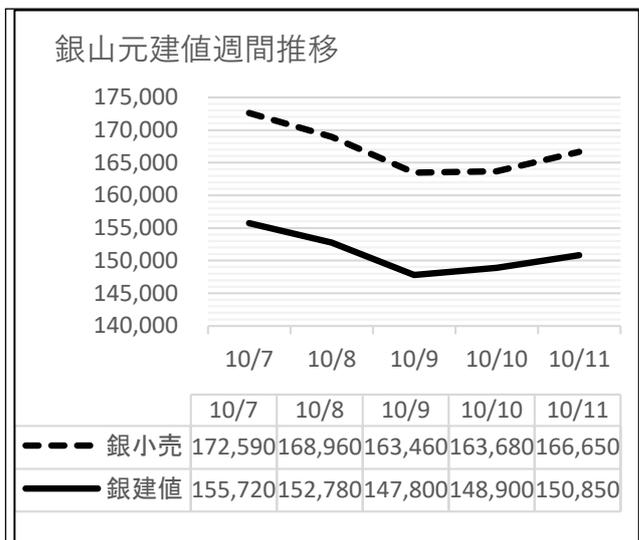
改正前の法律との整理について、2004年公布の鉱業投資法は1972年公布の鉱業法に、2020年公布の鉱業投資法は2004年公布の鉱業投資法に、優越するとの条文が、それぞれ2004年公布の鉱業投資法および2020年公布の鉱業投資法の条項に存在、細部に関しては1972年の鉱業法に遡って確認する必要がある。なお、改正前後の両鉱業投資法において互いに矛盾抵触する条項については、改正前の条項を廃止するとの条文が2020年公布の鉱業投資法第61条に定められている。

最新の2020年公布の鉱業投資法では、第1条にて、金属鉱物、貴石および半貴石、並びに原料からの加工工程と濃縮工程を必要とされる鉱石をClass(A)鉱産物、非金属混合物、および原料鉱物を(次頁に続く)

金銀山元建値週間推移



	9月平均	建 値	小 売
金(¥/g)		11,840.31	13,049.15
銀(¥/kg)		139,530	155,190



金属資源レポートClass(B)鉱産物、建築資材用途の原料をClass(C)鉱産物と定める。また第14条で鉱業ライセンスの種類を定めている。

〈イスラム金融(Islamic Banking and Finance)〉

非イスラム圏の企業がサウジアラビアで事業参画するにあたり考慮しなければならない項目の1つに、イスラム金融が挙げられる。日本企業を含め海外の企業がサウジアラビアを含めたイスラム圏の国々において社債起債・売買、保険の設計、Tadawulでの株式上場等を企図する場合には、非イスラム圏の金融、いわゆる伝統的金融(Conventional Finance)ではなく、イスラム金融、あるいはシャリーア適格金融(Sharia-compliant finance)と呼ばれる金融概念に則る。

一般にイスラム教徒は、イスラム教の聖典であるコーランと預言者ムハンマドの言行であるスンナを主要な法源とするシャリーア(Sharia)に即した振る舞いを求められるが、イスラム圏では金融システムに関し

ても例外ではなく、イスラム圏の法学者、経済学者らは、このシャリーアに則った金融システムを構築。ただし、イスラム教にはいくつも宗派がある。国や地域ごとに法学者らによる大小の協議解釈が異なる場合が多く、本稿で紹介する内容はあくまでイスラム金融の基本的な概念の紹介にとらえたい。

銀行と金融に関するシャリーアに基づく主要原則としては、次のものがある。

1. お金は如何なる本質的な価値を持たず、単に交換の媒体や、商品、サービス、および資産の価値を維持し、評価するための道具として使用される。
2. 実体経済における活動や損失と利益の分配に重点を置く。
3. アルコール飲料の取引や賭け、ギャンブルなどの反社会的活動は禁止する。
4. 利子(Riba)は禁止する。
5. 不明瞭で危険な取引(Gharar)は禁止する。(おわり)

故銅市況

11日朝入電の海外相場は、LME(ロンドン金属取引所)の銅相場で、直物の前場売値が前営業日の9,550.00ドルより43.00ドル安の9,507.00ドル。直物の終値は、前営業日の9,529.83ドルより53.03ドル高の9,582.86ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の9,690.00ドルより49.00ドル安の9,641.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の9,675.00ドルより48.00ドル高の9,723.00ドル。COMEX(ニューヨーク商品取引所)の銅相場12月限は、前営業日の442.75セントより2.80セント安の439.95セント。SHFE(上海期貨交易所)の銅相場11月限は、前営業日の7万7,610元より600元安の7万7,010元。

11日の東京為替市場TTSレートは、前日の150.41円より0.79円の円高ドル安、1ドル=149.62円。11日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は9,507.00ドル。この値と11日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日の147万4,000円より1万4,000円安の146万円。この日、電気銅建値は147万円に据え置かれた。

為替動向

10日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで下落。16時、前日と比べ0.0020ドルのユーロ安ドル高、1ユーロ=1.0920ドル~1.0930ドルで推移した。この日発表された米国の9月CPIで同月比上昇率が市場予想を上回りFRBによる大幅利下げの観測が後退、ユーロ売りドル買いが優勢になった。英ポンドも対ドルで下落。16時、前日と比べ0.0030ドルのポンド安ドル高、1ポンド=1.3040ドル~1.3050ドルで推移した。

10日のニューヨーク外国為替市場で円相場は反発した。前日と比べ0.70円の円高ドル安、1ドル=148.55円~148.65円で取引を終えた。この日発表の週間新規

失業保険申請件数が25万8,000件と2023年8月以来の高水準となった。これを受け円買いドル売りが優勢になった。日銀の氷見野副総裁が金融政策が引き締めに向きな発言をしたことも円相場を押し上げた。

11日午前の東京外国為替市場で円相場が上昇した。10時、前日17時と比べ0.60円の円高ドル安、1ドル=148.40円~148.42円だった。円は対ユーロでも上昇。10時、前日17時と比べ0.66円の円高ユーロ安、1ユーロ=162.31円~162.34円で推移した。

故銅直納問屋筋の平均値頃感 (単位は千円)

(10月10日更新)

直納問屋筋によるロット物(5トン前後)の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が1198~1222、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは1163~1187、並銅は1128~1152、込銅(高品位=約97%)は1118、セパは832~851。コーペルは要り用筋で773、それ以外は758ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋783、それ以外753~772どころの値頃。並青銅鋳物削粉は987~-21どころ。

小口市中相場(1トン前後)では、ピカ線が1178~1202、上銅新くずが1143~1167、普通上銅が1118~1142、2号銅線が1110~1134、並銅が1108~1132、込銅(94-97%)が1056、込銅(90-93%)が1058、下銅が641~665、セパが797~816、コーペルが713~732、黄銅棒地が708~727、黄銅削粉が703~722、黄銅ラジが668~687、交叉ラジが659~674、黄銅銅鋳物が623~635、送りが461、上青銅鋳物が984~1005、並青銅鋳物が964~985、上青銅鋳物削粉が979~1000、並青銅鋳物削粉が954~975どころ。



LME銅相場は続落 直物終値は9,582.86ドル▶COMEX銅相場は反発 SHFE銅相場は続落
▶LME非鉄相場はまちまち 直物終値は亜鉛3,070.27ドル、アルミ2,575.31ドル

11日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、10日入電の9,550.00ドルより43.00ドル安の9,507.00ドル。3営業日の続落で3.15%安。この週2.83%の下落。10月に入って2.66%の下落。3か月物の前場売値も、10日入電の9,690.00ドルより49.00ドル安の9,641.00ドル。3営業日の続落で3.24%安。この週2.97%の下落。10月に入って2.68%の下落。LME公認倉庫の現地9日銅在庫は、前日の29万4,825トンより4,525トン増の29万9,350トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場10月限は、10日入電の435.50セントより3.00セント高の438.50セント。4営業日ぶりの反発で0.69%高。この週3.04%の下落。10月に入って2.47%の下落。11月限も、10日入電の437.25セントより2.80セント高の440.05セント。4営業日ぶりの反発で0.64%高。この週3.20%の下落。10月に入って2.74%の下落。

SHFE(上海期貨交易所)の銅相場10月限は、10日入電の7万7,670元より490元安の7万7,180元。3営業日の続落で2.23%安。この週2.23%の下落。10月に入って2.23%の下落。11月限も10日入電の7万7,610元より600元安の7万7,010元。3営業日の続落で2.28%安。この週2.28%の下落。10月に入って2.28%の下落。

錫はまちまち

LME錫相場の前場売値は、直物が、10日入電の3万2,600.00ドルより40.00ドル安の3万2,560.00ドル。3営業日の続落で4.52%安。この週3.68%の下落。10月に入って2.30%の下落。3か月物の前場売値は、10日入電の3万2,650.00ドルより150.00ドル高の3万2,800.00ドル。3営業日ぶりの反発で0.46%高。この週2.89%の下落。10月に入って1.52%の下落。LME公認倉庫の現地9日錫在庫は、前日より横ばいの4,505トン。

鉛は続落

LME鉛相場の前場売値は、直物が、10日入電の2,021.00ドルより13.00ドル安の2,008.00ドル。3営業日の続落で4.86%安。この週4.70%の下落。10月に入って3.02%の下落。3か月物の前場売値も、10日入電の2,070.00ドルより15.00ドル安の2,055.00ドル。3営業日の続落で5.04%安。この週4.60%の下落。10月に入って2.93%の下落。LME公認倉庫の現地9日鉛在庫は、前日の19万6,825トンのより175トン減の19万6,650トン。

亜鉛は反発

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、10日入電の3,001.00ドルより16.00ドル高の3,017.00ドル。3営業日ぶりの反発で0.53%高。この週4.04%の下落。10月に入って1.90%の下落。3か月物の前場売値も、10日入電の3,029.00ドルより5.50ドル高の3,034.50ドル。3営業日ぶりの反発で0.18%高。この週4.23%の下落。10月に入って2.46%の下落。LME公認倉庫の現地9日亜鉛在庫は、前日の24万4,025トンより1,575トン減の24万2,450トン。

アルミも反発 アルミ合金はまちまち 北米特殊は横ばい

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が10日入電の2,530.00ドルより20.50ドル高の2,550.50ドル。3営業日ぶりの反発で0.81%高。この週3.90%下落。10月に入って2.32%の下落。3か月物の前場売値も、10日入電の2,541.00ドルより17.00ドル高の2,558.00ドル。4営業日ぶりの反発で0.67%高。この週4.03%下落。10月に入って2.29%の下落。LME公認倉庫の現地9日アルミ在庫は前日の77万5,275トンよ2,500トン減の77万2,775トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、10日入電の2,236.00ドルより1.00ドル高の2,237.00ドル。0.04%上伸。この週0.09%の上伸。10月に入って4.05%上伸。3か月物の前場売値は、9日入電より横ばいの2,255.00ドル。この週横ばい。10月に入って3.87%上伸。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、10日入電より横ばいの2,450.00ドル。この週横ばい。10月に入って横ばい。3か月物の前場売値も、10日入電より横ばいの2,450.00ドル。この週横ばい。10月に入って横ばい。

ニッケルは続落

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、10日入電の1万7,275.00ドルより125.00ドル安の1万7,150.00ドル。3営業日の続落で4.06%安。この週2.56%の下落。10月に入って0.85%の上伸。3か月物の前場売値も、10日入電の1万7,575.00ドルより125.00ドル安の1万7,450.00ドル。3営業日の続落で3.75%安。この週2.13%の下落。10月に入って0.81%の下落。LME公認倉庫の現地9日ニッケル在庫は、前日の13万2,372トンより60トン減の13万2,312トン。

LME公示価格(US\$)／10月10日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	9,507.00	32,560.00	2,008.00	3,017.00	2,550.50	2,237.00	2,450.00	17,150.00
	前営業日比	▲ 43.00	▲ 40.00	▲ 13.00	16.00	20.50	1.00	0.00	▲ 125.00
先物	公示価格	9,641.00	32,800.00	2,055.00	3,034.50	2,558.00	2,255.00	2,450.00	17,450.00
	前営業日比	▲ 49.00	150.00	▲ 15.00	5.50	17.00	0.00	0.00	▲ 125.00

海外非鉄金属相場

(10月11日 入電・現地 10月10日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

	前場買値	前場売値	終値	出来高
銅 A G				
現物	9,506.00	9,507.00	9,582.86	
前日比	▲ 43.00	▲ 43.00	53.03	
先物	9,640.00	9,641.00	9,723.00	137,621
前日比	▲ 45.00	▲ 49.00	48.00	▲ 18,114

錫 H G				
現物	32,540.00	32,560.00	32,635.99	
前日比	▲ 10.00	▲ 40.00	325.00	
先物	32,775.00	32,800.00	32,817.00	7,869
前日比	150.00	150.00	332.00	▲ 658

鉛				
現物	2,007.00	2,008.00	2,019.90	
前日比	▲ 12.00	▲ 13.00	8.74	
先物	2,053.00	2,055.00	2,066.50	91,241
前日比	▲ 16.00	▲ 15.00	4.50	28,490

亜鉛 S H G				
現物	3,016.00	3,017.00	3,070.27	
前日比	16.00	16.00	75.78	
先物	3,034.00	3,034.50	3,086.50	122,804
前日比	6.00	5.50	66.50	3,582

アルミ H G				
現物	2,550.00	2,550.50	2,575.31	
前日比	22.00	20.50	50.11	
先物	2,556.00	2,558.00	2,586.00	232,567
前日比	15.50	17.00	45.00	3,582

アルミ合金				
現物	2,227.00	2,237.00	2,237.50	
前日比	1.00	1.00	1.00	
先物	2,245.00	2,255.00	2,255.00	0
前日比	0.00	0.00	0.00	▲ 5

北米特殊アルミ合金				
現物	2,440.00	2,450.00	2,450.00	
前日比	0.00	0.00	0.00	
先物	2,440.00	2,450.00	2,450.00	0
前日比	0.00	0.00	0.00	0

ニッケル				
現物	17,145.00	17,150.00	17,288.70	
前日比	▲ 105.00	▲ 125.00	183.29	
先物	17,445.00	17,450.00	17,541.00	68,977
前日比	▲ 80.00	▲ 125.00	170.00	▲ 6,481

N Y コメックス相場					
出来高：1ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント					
金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント					
	銅HG	金	銀	プラチナ	パラジウム
10月限	438.50	2620.6	3100.5	967.7	1065.40
11月限	440.05	2627.4	3109.2	971.3	1066.20
12月限	442.75	2639.3	3124.0	976.1	1072.20
1月限	443.70	-	3138.5	976.2	-
2月限	445.25	2662.6	-	-	-
前日比	3.00	14.6	58.0	19.0	28.50
出来高	69,540	214,172	56,334	24,965	4,673

採算価格						
フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)						
為替相場	LME (円ベース/キロ)					
ドル・円	銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	ニッケル
T T S	9507	32560	2008	3017	2551	17150
149.62	1464	5072	337	491	401	2766
-0.79	▲ 15	▲ 32	▲ 4	0	1	▲ 32

フリー・マーケット			
■米国生産者価格(地金)			
銀(セント/オンス) EH社	3095.0	(45.0)	
銀(セント/オンス) HH社	3098.5	(40.0)	

■NY相場			
取引業者銅(セント/ポンド)	256.35	-	257.35
2号銅線くず(セント/ポンド)	353.35	-	357.35

■ロンドン相場(ドル)			
金(オンス)	2628.95	(18.25)	
アンチモン99.65%(トン)	28500	-	30000
ビスマス99.9%(ポンド)	6.40	-	6.90
カドミウム99.99%(ポンド)	1.85	-	1.95
インジウム99.99%(キロ)	385.00	-	410.00
セレンウム99.5%(ポンド)	15.00	-	16.00
スポンジチタン99.5%(キロ)	12.60	-	13.50
フェロモリブデン欧州産65%(キロ)	50.00	-	50.00
コバルトカソード99.8%(ポンド)	10.90	-	10.90
マグネシウム中国産99.9%(トン)	3250	-	3250
タングステンAPT(純分10キロ)	375.0	-	375.0
タンタル鉱石30-35%(ポンド)	79	-	82

■K L T M 錫 (MYR/KG、出来高トン)			
	(10日)		(11日)
相場	-		-
出来高	-		-
ドル建て価格	-		-
ODレート	3.7600		3.7600
M\$ / US\$ レート	4.2944		4.2854
採算円/キロ	-		-
US\$採算円/キロ	-		-

■LME在庫(トン)			
	在庫		増減
(10/9現在)	銅 299,350		▲ 1,450
	錫 4,505		-
	鉛 196,650		▲ 1,600
	亜鉛 242,450		1,625
	アルミ 772,775		▲ 2,500
	アルミ合金 1,620		-
	北米特殊アルミ合金 220		-
	ニッケル 132,312		522

■上海在庫(トン)			
	在庫		増減
(9/30現在)	銅 141,625		1,217
	アルミ 280,565		1,394
	亜鉛 79,980		▲ 176
	鉛 40,779		0
	ニッケル 25,504		0

■LMEプレマーケット(ドル)			
	先物気配		
(10/11)	銅 9,733.5	-	9,736.0
(5:00PM現地)	錫 32,885.0	-	32,990.0
	鉛 2,077.0	-	2,078.5
	亜鉛 3,102.0	-	3,104.0
	アルミ 2,601.5	-	2,602.5
	ニッケル 17,585.0	-	17,595.0

■上海相場					
トン当たり元、1ロット=5トン・増値税込					
	銅	アルミ	亜鉛	鉛	ニッケル
10月限	77180	20485	24925	16520	129330
11月限	77010	20490	24840	16580	132390
前日比	▲ 490	▲ 25	▲ 290	▲ 295	▲ 5370
出来高	20875	10670	2950	490	426

※11日のKLTMは入電がありません。

COMEX		上海			
銅	鉛	銅	アルミ	亜鉛	鉛
439	1493	77180	20485	24925	16520
▲ 9	2	1643	436	531	352
		▲ 9	0	▲ 6	▲ 5

非鉄金属製品相場

(10月11日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪 東京		鉛亜鉛製品	大阪 東京		電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)	
銅小板2.0ミリ	1820	1755	亜鉛板0.3×3×7	630	630	V V F	
建築用0.3ミリ	1870	1805	印刷用亜鉛板トッパン用	720	720	2C×1.6	67~69
銅大板2×1×2	1950	1955	給水管13ミリ	245	245	2C×2.0	117~120
銅管(ベース)	1880	1955	鉛板1.5ミリ	575	575	3C×1.6	123~126
水道用管(m当たり)13ミリ	1850	1925	鉛線3ミリ	405	405	3C×2.0	171~174
銅棒25ミリ	1730	1725	軽圧品	大阪	東京	I V	
銅条1.5×100	1785	1770	アルミ箔0.007ミリ	1160	1175	1.6mm	37.1~39.4
銅線0.9ミリ	1810	1785	〃 小板1ミリ	795	805	5.5sq	102~109
銅帯6×50	1690	1725	〃 大板1ミリ	775	795	14sq	255~271
銅平角線	2010	1955	〃 5052板	835	845	CV-T	
黄銅小板2.0ミリ	1475	1415	〃 6061板	1360	1375	600V 3C×38	1950~2073
〃 0.3ミリ	1505	1445	〃 2017板	1290	1405	600V 3C×60	3016~3206
黄銅大板2×1×2	1625	1595	〃 線3ミリ	775	790	600V 3C×100	5056~5375
黄銅管	1955	1985	〃 快削棒50ミリ	995	1010	6kV 3C×38	3090~3273
復水器用黄銅管	1925	1955	〃 合金棒50ミリ(17S)	980	990	6kV 3C×60	4360~4618
黄銅棒快削25ミリ	1220	1280	〃 合金棒50ミリ(56S)	935	950	CVV (関西-関東)	
六角棒	1250	1310				3C×2	145-148
四角棒	1280	1340	貴金属(一般小口向け)			4C×2	195-199
鍛造用	1260	1320	白金(グラム)		◎ 5204	6C×2	279-285
ネーバル	1360	1420	パラジウム(グラム)		◎ 5852	7C×2	319-327
高力	1360	1420	金(グラム)		◎ 13899	合金鉄 7月輸入単価 (CIF)	
黄銅線6ミリ	1660	1595	銀(キログラム)		◎ 166650	フェロマンガ2%以上炭素含有	188
黄銅平角線ロール仕上	1860	1805				〃 その他	242.9
黄銅条1.5×100	1470	1430	レアメタル輸入価格	7月通関 (CIF)		フェロシリコン55%以上	259
リン青銅板一般用1.0ミリ	2560	2550	金属ケイ素(99.99%未満)		365	フェロクロム4%以上炭素含有	276
〃 バネ用0.3ミリ	2860	2860	モリブデン酸化物		5760	フェロモリブデン純分60%以上	5492
リン青銅棒25ミリ	2630	2640	タンタル		84460	フェロバナジウム	3248
リン青銅線3ミリ	3050	3060	マグネシウム		422	フェロニッケル33%未満	523.5
洋白板一般用1.0ミリ	2880	3030	コバルト		5152		
〃 バネ用1.0ミリ	3060	3230	インジウム		59000	電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ	326

減 摩 合 金	10月1日改定	銅 合 金 地 金	10月1日発表
(500kg以上、大口価格)		(標準価格)	大阪
1種	5675	BC 1種	1410
2種	5565	2種	1775
3種	5435	3種	1870
4種	4850	6種	1560
5種	4380	7種	1655
7種	1870	YBSC 3種	1235
8種	1720	LBC 3種	1790
9種	1410	PBC 2種	1895

非鉄金属材料相場

山元建値		電気銅	1470(10)	金	12,612(11)		
() 実施日		電気鉛	375(7)	銀	150,850(11)		
		電気亜鉛	511(10)	錫(99.99%)	6,500(7)		
キロ当たり円	◎上げ ◆下げ	(10月11日調べ)		インジウム大口~小口(99.99%)	55,000 ~ 63,000(1)		
非鉄原料 (炉前材)	大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場	
1トン以上外税持込			高値	安値	高値	安値	
1 号 銅 線	1330	1328	電 気 銅 ◆	1441 ◆	1436 ◆	1443 ◆	1438 ◆
2 号 銅 線	1288	—	電 気 亜 鉛	480	474	480	474
上 銅 (新 切)	1301	1295	蒸 留 亜 鉛	468	462	468	462
雑 ナ ゲ ッ ト	1131	1130	再 生 ダイカスト亜鉛2種	408	402	408	402
並 銅	1243	1226	再 生 亜 鉛 (98%)	363	357	363	357
下 銅	1224	1199	電 気 鉛	357	354	357	354
銅 削 粉	1204	1199	再 生 鉛 1 号	339	329	337	332
銅 さ い (30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	344	340	342	338
新 切 黄 銅 セ バ	977	988	錫 1 号	5100	5050	5100	5050
コ ー ペ ル	941	944	ア ン チ モ ン	2400	2350	2400	2350
黄 銅 棒 地	919	932	ニ ッケル(メッキ用)	2700	2650	2700	2650
黄 銅 削 粉	913	927	コ バ ル ト	5300	5000	5300	5000
並 黄 銅	847	825	セ レ ニ ウ ム	4100	3900	4100	3900
黄 銅 ラ ジ エ タ ー	780	764	ビ ス マ ス	1600	1500	1600	1500
交 叉 ラ ジ エ タ ー	795	776	カ ド ミ ウ ム	800	750	800	750
黄 銅 鋳 物	850	—	マ グ ネ シ ウ ム 合 金	470	450	470	450
山 送 り (55%)	500	—	アルミ地金 99.70 %	◎ 433	◎ 429	◎ 435	◎ 431
上 青 銅 鋳 物	1049	—	アルミ二次地金 99 %	360	355	360	355
並 青 銅 鋳 物	1047	1039	〃 90 %	335	330	335	330
上 青 銅 鋳 物 削 粉	1042	—	アルミ二次合金ADC12	464	459	467	462
並 青 銅 鋳 物 削 粉	1032	1023	鋳 物 用 C2BS	489	484	491	486
新 切 リ ン 青 銅 (伸 銅)	—	1328	青 銅 合 金 地 金 3 種	1790	1780	1920	1910
〃 (鋳 物)	1163	—	〃 6種	1510	1500	1600	1590
リ ン 青 銅 削 粉	1081	1077	ハ ン ダ 錫 60 %	3580	3540	3600	3570
新 切 洋 白 (電 子 材)	1093	1084	〃 50 %	3100	3050	3120	3090
新 切 亜 鉛	275	275	〃 40 %	2685	2625	2640	2610
ダイカストくず	192	192	減 摩 合 金 2 種	4965	4935	4970	4940
亜 鉛 ド ロ ス	172	182	〃 4 種	4235	4210	4240	4210
上 鉛	205	203	〃 7 種	1315	1265	1315	1265
電 池 素 鉛 ケ ー ス 込	90	90	ス テ ン レ ス ・ 特 金	18-8ステンレス 新切	◎ 65	◎ 65	
活 字 鉛	205	202		〃 ダライ粉	◎ 50	◎ 50	
新 切 アルミ 1 級	295	303		高耐食ステンレスSUS316	220	220	
新 切 サ ッ シ 1 級	293	301		耐熱ステンレスSUS310	300	300	
新 切 合 金 1 級	286	286		13クローム 新切	30	31	
機 械 鋳 物 1 級	231	241		ハイス 9種	165	165	
ピ ス 付 サ ッ シ P	238	244					
合 金 削 粉 P	190	189					
込 ガ ラ P	151	152					
カ ン ・ バ ラ	215	213					

